

4 月は別れと出会いの季節

4 月は別れと出会いの季節です。皆さんはどのような別れと出会いがあったのでしょうか。

私はこの 3 月で、福島県任期付職員を退職しました。檜葉町で 4 年間、大熊町で 1 年間仕事をすることができました。復興の役に立ったかどうかは分かりませんが、何とか健康で 72 歳まで働くことができました。親や家族に感謝です。また、多くの人達と巡り合うことができました。私一人だけではとても単身赴任の生活ができなかったと思います。

東京はコロナ・ウィルスが心配なので、後 1 年間は檜葉町にいるつもりです。福島県も変異ウィルスが拡大しています。その上に、医療従事者も少ないです。しかし、大阪や東京と違って、感染者の在宅療養はゼロです。何とか県が貸し切ったホテルで宿泊できています。

今も 7 市町村で帰還困難区域があります（富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・南相馬市小高区・葛尾村・飯館村）。各市町村では、特定再生復興拠点区域（旧市街地）を決めて、環境省が除染して、来春には帰還困難区域を解除します。これらの市町村にとっては、令和 3 年度は正に正念場です。

浜通りでは、帰還困難区域を解除しても、住民は戻ってきません。戻って来ない住民を待つよりも、これからは「交流⇒移住⇒定住」を促進して、新しい住民が来てくれることを望んでいます。

東北の春・福島の花

「東北と言えば春・福島と言えば桜」、今が一番良い季節です。厳冬から一気に春になります。野山は百花繚乱です。今年はずっとよりか 2 週間ぐらい早く桜が開花しました。私も暇になったので、各地に桜を見に行きました。どこでも余り人はいません。コロナ・ウィルスが原因なのかとも思いましたが、それだけではありません。福島の人にとっては、桜は当たり前（日常生活）なので、わざわざ桜を見に行くという習慣がないのかもしれない。

いつもならば、皆さんに福島の花を見てもらいたいのですが、今年もコロナ・ウィルスのことがあって、誘いませんでした（ゴメンナサイ）。

この間、浪江町と南相馬市小高区で、小中学校の統廃合が発表されました。いくつかある小中学校をそれぞれ 1 校にします。そして、残った小中学校の校舎は解体されます。無くなってしまう小中学校の同窓会や PTA は、解体する時期を延ばすように要望しています。請戸小学校（浪江町）や双葉南小学校（双葉町）は震災遺構として保存することが決まっています。私は、学校は解体しないで、公民館や地域のコミュニティセンターなどにして、再利用してもらいたいです。



【今出川・北須川の桜並木—なぜか人がいない（石川町）】



【涼ヶ岡（すずみがおか）八幡宮の桜並木（相馬市）】

私の住所：福島県双葉郡檜葉町

パソコンメールアドレス：p-mia08@outlook.jp